



えりも岬小学校で5名の新入学児

4月8日、えりも町内全小学校で「入学式」が行われました。この日、町内で入学式を迎えた新1年生は43名。ここ「えりも岬小学校」では5名の新入学児を迎え入れました。

在校児童（22名）の見守る中、新1年生は緊張した面持ちで入場。約30分余りの式典ののち教室に戻り、担任の先生と一緒に記念撮影に収まっていました。

P 2-3 令和4年度予算の概要
予算特別委員会を終えて

P 4-5 予算特別委員会 質疑

P 6 令和4年度3月定例会
補正予算・条例改正ほか

P 7-10 一般質問5名 8件

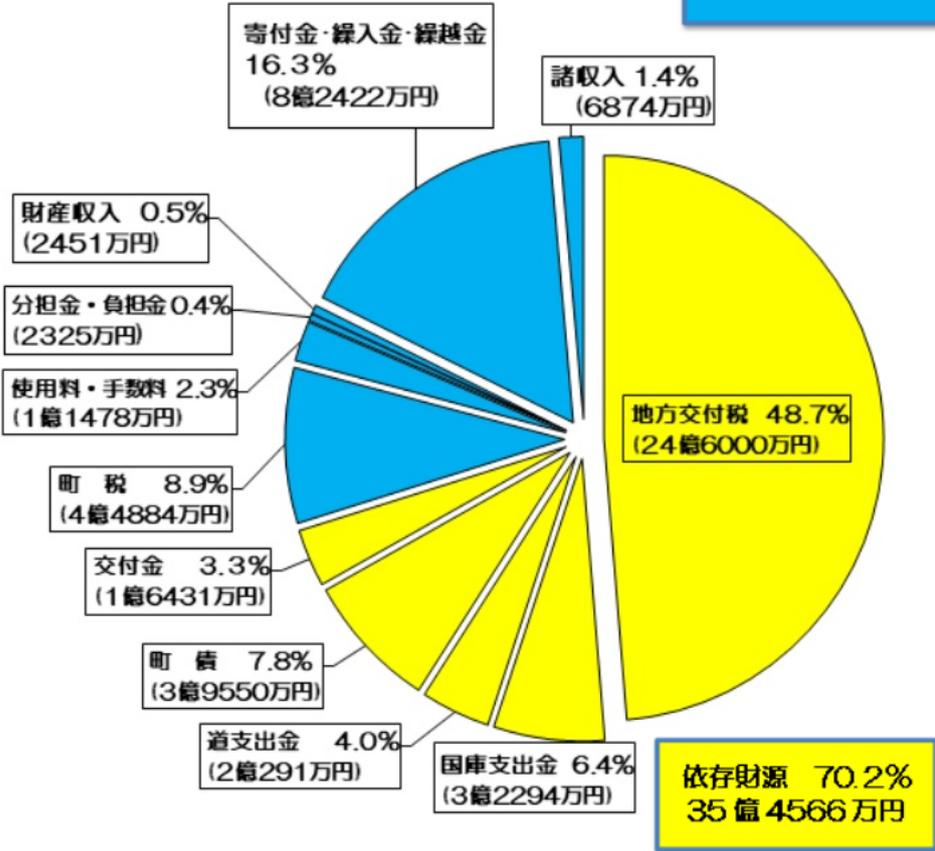
P 11 全員協議会 報告

P 12 「この人に聞く」
新規就農者
藤井 達也さんに
インタビュー

前年度比 3億6000万円減

歳入
50億5000万円

自主財源 29.8%
15億434万円



依存財源 70.2%
35億4566万円

本年度の一般会計予算は、50億5千万円で前年度と比較し3億6千万円の減となりました。
大きな要因は、防災行政無線更新整備事業、無名橋解体事業、清掃センター一部改修事業等の終了によるものです。一方、本年度の主な新規事業は赤潮漁業被害対策や新型コロナウイルス感染症対策等で、内容は別枠に掲載しています。



波板で生育中の稚ウ二



避難路整備の「町道高校通り線」

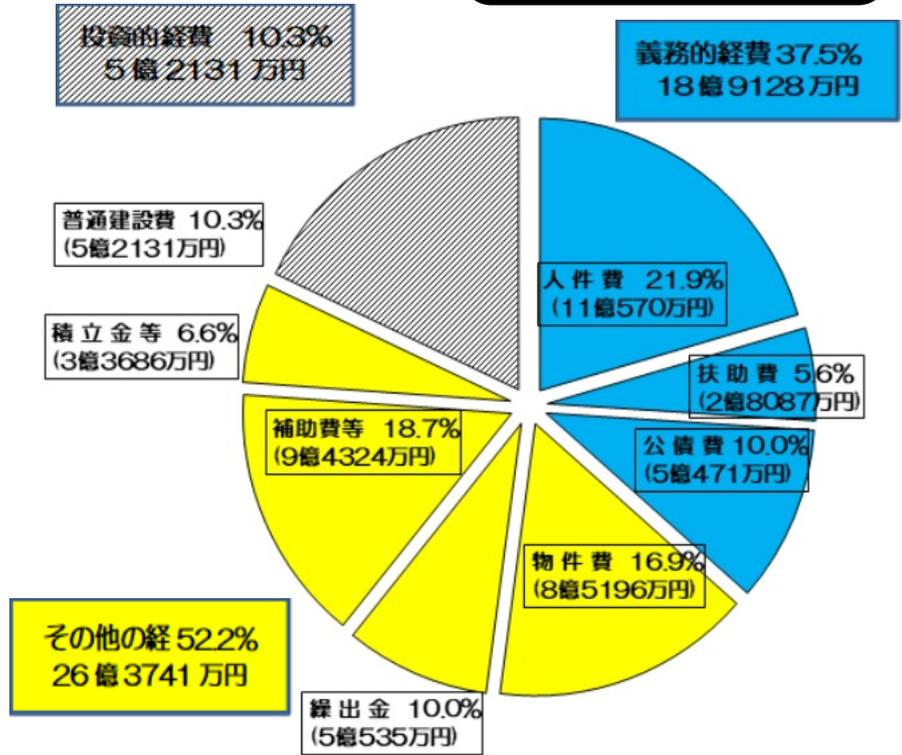


崩落の危険性がある「町道旭ヶ丘7号線」

- 「●本年度の主な新規事業」**
- ◎ 令和3年発生 of 赤潮による漁業被害対策（産業振興課）8,890万円
 - ・ウニ種苗購入費用に対する補助金 2,640万円
 - ・市場機能維持支援補助金 1,000万円
 - ・水産多面的機能発揮対策事業負担金 5,250万円
 - ◎ 新型コロナウイルス感染症対策 6,069万円
 - ・商工事業者に対する事業継続支援金の給付 3,000万円
 - ・検診やワクチン接種の履歴の一元管理システム導入 1,595万円
 - ・高等学校学習者用タブレット端末購入・環境構築 429万円
 - ・その他の感染予防対策（資器材購入等） 1,045万円
 - ◎ 映画「北の流氷」（仮題）製作推進事業（企画課）4,160万円
 - ・えりも岬の緑化事業を題材とした映画製作推進のため。
 - ・地域おこし協力隊員（2名）の募集・活動支援 1,160万円
 - ・映画「北の流氷」（仮題）協賛負担金 3,000万円
 - ◎ 町道高校通り線改良事業（建設水道課）4,000万円
 - ・福祉避難所に指定されているえりも高等学校への道路整備。
 - ◎ 町道旭ヶ丘7号線土砂災害防止事業（建設水道課）1,900万円
 - ・地震発生時などの土砂災害を防止するための設計委託料。

令和4年度一般会計予算

歳出
50億5000万円



予算特別委員会を終えて

委員長 渡部 泰



令和4年度の当初予算の審査という重要な案件の進行を任されましたが、委員並びに理事者・説明員のご協力を賜り、無事、全会計の審議を終えましたことに、心から感謝申し上げます。さて、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症による売上の減少、そして昨年9月に発生した赤潮による被害は、いまだに全容をつかめない状況にあり、本町の主産業である漁業の先行きが心配されるところです。また、農業においては平成25年より発生した牛ヨーネ病がいまだに終息せず、深刻な事態であります。このように、町の産業が大変厳しい状況にある中で、予算特別委員会でありましたが、本審査の中でそれぞれ建設的な意見や指摘がありましたので、これらを十分に踏まえ、今後の町政の発展に役立てていただきますよう、委員を始め理事者、説明員皆さまに切にお願いを申し上げます、ご挨拶いたします。

● 予算総括表

単位 (千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	5,050,000	-360,000
国民健康保険特別会計	975,000	-15,000
簡易水道特別会計	194,000	15,000
診療所特別会計	367,000	26,000
下水道特別会計	194,000	8,000
介護保険特別会計	500,000	4,000
後期高齢者医療特別会計	76,000	7,000
小計	2,306,000	45,000
総計	7,356,000	-315,000

特別会計の新規事業

- 診療所特別会計



老朽化により更新される「超音波画像診断装置」

- 下水道特別会計



大和地区の下水道ポンプ室 監視装置を更新

予算特別委員会

定例町議会最終日の3月18日、町から提示された令和4年度の予算案に対する質疑応答が行われました。各委員から多くの質疑がありました。内容を抜粋し掲載します。

牛ヨーネ病の現状は

質疑（竹内）

牛ヨーネ病の現状は。

答弁（産業振興課長）

現在の牛飼養農家は21戸で、ヨーネ病が発生している農家は13戸である。平成25年の法定検査で初めてヨーネ病が確認され、5年ごとに検査を行っているが、若干増えている状況にある。現在までの患者の累計は526頭で、全て殺処分されている。

金融機関の窓口手数料

質疑（高松）

金融機関の窓口で公金を納付する場合、手数料を取る金融機関が現れ、町がその手数料を負担することに

質疑（石川）
シカ柵の内側でも鹿が繁殖し、広葉樹の幼木が食害で育たない。農地の被害や昆布干場への侵入をみても、現状のシカ柵は十分に機能しておらず、次の対策を考えては。

答弁（産業振興課長）

民有林や農地をシカ柵で囲い、維持管理をしてもらうことが現実的である。効果と考え、補助金で対応できるように検討する。

シカ侵入防止柵の修繕

質疑（橋本）

毎年相当の維持補修費がかかっているが、電気柵など設置し対策を考えては。

答弁（産業振興課長）

設置から10年以上経過し、毎年修繕に500万円ほどかかっている。既存施設が老朽化した場合には農地を守るために電気柵の活用を検討したい。



修繕箇所が多いシカ侵入防止柵

ウニ種苗購入支援補助金

質疑（大坂）

赤潮で親ウニが減少しているが、種苗生産に心配はないか。

また、種苗センターが老朽化しているが、漁協から要望等があるか。

答弁（産業振興課長）

親ウニは、深い海域の調査をしていないが、いない場合は漁協が道内各地から確保するものと思う。種苗センターは、35年程経過しており、漁協から要望があれば、町も助成を考えている。

映画製作

質疑（橋本）

映画製作の中で、ふるさと納税とは別に町民の中で寄付をしたいという人がいる。募金箱を設置してはどうか。

答弁（企画課長）

製作準備委員会のなかで、前向きに検討したい。

教員住宅の修繕

質疑（橋本）

教員住宅は断熱が悪く、今年には水道の凍結が多く見受けられた。また、水道の蛇口も古い。

答弁（学校教育課長）

混合栓に改善する予定は。教員住宅は全体的に古く、指摘の水道関係については承知している。計画的に改善していきたい。

PCB濃度測定

質疑（橋本）

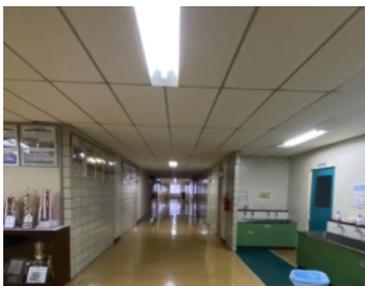
中学校費でPCB測定費が計上されているが、濃度測定ではなく、器具の交換が必要では。

答弁（学校教育課長）

PCBは、蛍光灯の安定器に使用されており、2027年3月までに処分しなければならぬ。測定結果を踏まえ、早期に処理したいと考えている。



教員住宅の流し台蛇口交換を



中学校の照明器具はPCBを使用しているため早期交換が必要

生理用品の常備を

質疑（石川）

社会では子供の貧困問題が取りざたされており、生理用品を消耗品として学校で常備すべきでは。

答弁（教育長）

現在、学校からの要望はないが今後検討していく。

海外実践研修 旅行助成金

質疑（中野）

コロナ禍でえりも高校の海外研修は2年続けて中止になっている。オンライン交流やバーチャル旅行などに変更できないか。

答弁（えりも高校事務長）

現在、韓国は60万人のコロナ感染者があり、過去最大を記録し、政府も渡航制限をしている状況である。

タブレット端末が1人1台導入予定なので、今後はZOOMなどでの交流を行っていききたい。

タブレット端末の リモート学習は

質疑（上野）

今年度でえりも高校の全校生徒分が揃う予定であるが、コロナ等で自宅待機になった場合に、リモート学習に切り替える体制が整っているか。

答弁（教育長）

小中学校は、試験的に実施し問題がなく、4月以降の体制は整っている。

高校は、タブレット端末が揃えば小中学校での実績もあり、対応できる体制にある。

中高一貫教育推進 委員会交付金

質疑（大坂）

教育行政執行方針の中で、教育実践や進路実績を生徒・保護者・町民への周知とスクールバスの通学路線などを検討し、えりも高校への入学者数を増やしたいとあるが、45人の卒業生のうち、えりも高校に26名、残りは

町外の高校となっている要因は。

答弁（教育長）

えりも町は連携型中高一貫教育であるが、進路は夢・スポーツ・学習等で生徒に選択の自由があり、半強制的にえりも高校とはならないため、町外の高校に行く生徒もいる。

スクールバスの運行は、より利用しやすいように4月から改善し、今後は、様子町からも通学してもらいやすい運行も考えていく。

下水道の消費税

質疑（高松）

簡易水道及び下水道特別会計において、一部のまちで国へ納める消費税を誤って過大納付し、返還を求めたが時効により一部返還されず、町財政に損害を与えたという新聞報道があったが、当町では調査したか。

答弁（建設水道課技術長）

調査の結果、適正に処理されていた。

臨床検査技師 後任の目途は

質疑（竹内）

3月末で臨床検査技師が定年退職となるが、後任の目途は立っているか。

答弁（診療所事務長）

一年半ほど前より募集を続けてきたが、現段階で応募がないため、引き続き募集を続けていく。

また、今後については月6〜7日程度、エコー検査等を含めた業務委託契約を考へながら対応していきたい。



臨床検査技師が不在となる国保診療所

子宮頸がんワクチン

質疑（上野）

対象は何歳から何歳まで

で、人数は。

後遺症等が問題となっている例があるが大丈夫か。

答弁（保健福祉課長）

対象者は基本的には小学校6年生から高校1年生までである。

今回は経過措置として平成9年度以降に生まれた方まで対象範囲を広げるため、人数は110人を想定している。

後遺症等は、厚生労働省で統計を積み上げた部分での接種勧奨の再開ということで、基本的にはクリアしているものと考えている。

市場機能維持 支援補助金

質疑（上野）

市場機能維持支援補助金の内容は。

答弁（産業振興課長）

赤潮で経営的に大きな被害を受けた漁協市場の機能を保持していくために、電気料等の経常的な部分に不足が予測されるための補助金である。

えりも町議会第8回定例会



老朽化しているえりも岬
事業所の荷さばき施設

- ・令和3年度
一般会計(歳出)
北海道自治体情報システム協議会負担金 272万8千円
- ・マイナンバーカードを持っている方の転出入手続きをワンストップで行うためのシステム改修費用
- ・水産物荷さばき施設設置
事業補助金 3023万円
- ・えりも漁協えりも岬事業所の水産物荷さばき施設
の設計料

補正予算

- ・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金 86万4千円

条例改正

エゾシカ捕獲頭数の増

小学校プール 運営期間が延長



昨年6月に開館し、
好評のえりも小「風の子」プール

- ・えりも小学校プール設置及び管理運営条例の改正

改正前

6月1日～9月30日

改正後

5月1日～10月31日

人事

- ・えりも町教育委員の選任
えりも町字東洋 三谷 秀樹(56歳) 新任

第7回 臨時会

補正予算

- ◎令和3年度
一般会計(歳出)

- ・財政調整基金積立金 1億6000万円
- ・ふるさと納税寄付金の一部を積立

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金 6730万円

国が進めている非課税世帯等への給付金(一世帯10万円、673世帯)

- ・道路維持費

740万円

町道の除雪費用に不足が見込まれるため

- ・新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援事業給付金

農業者 390万円
漁業者 2010万円

新型コロナウイルス感染拡大により業績が悪化している事業者の事業継続を支援するための給付金

- ・ウニ漁業被害対策支援補助金 2090万円

今年度発生した漁業被害の回復を支援するためウニの種苗購入費を補助



赤潮被害からの復活を図るウニ漁業

そこが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



橋本 維応議員

問 橋本 議員

カーブミラーの設置と改善点は

自治会からの要望があれば検討

カーブミラーは、交通事故を未然に防ぎ、町民の安全安心を守るために大きな役割を果たしているが、町内に

は車両通行時、見通しが悪い箇所がある。
①既設のカーブミラー設置箇所に改善点はないか。また、新規に必要なとする箇所はないか。
②危険防止の観点から、個人が必要とするカーブミラーの設置に対し、補助金を検討できないか。

答 建設水道課長

①現在の設置場所については特に問題はないと判断している。
新規の設置は自治会などから要望があれば検討する。
②私道の利用状況等にもよるが、交通安全上の対策が必要と判断される場所は、町としても何らかの支援策の検討が必要と思うが、受益者が限定されるような安全対策の補助は、現在のところ考えていない。

風の館の有効利用は

「道の駅」設置は困難



見通しの悪いT字路にはカーブミラーが必須であるが

問 橋本 議員

「風の館」は、観光客が風を体験したり、自然景観をみるために訪れ、今後も様々な利用が期待される。また、「襟裳岬」は国立公園化が予定され、周辺の整備や「風の館」本体の修繕を行う必要があると考えるが、

①施設内部は、円形の天窗の一部が落下したため飛散物が入り、3月からの開館でこの状態では、非常に危険であるため、早急な対応が必要では。
②周辺は店舗が1ヶ所しかなく、当施設に「道の駅」の機能を持たせるなど、この機会に様々なことにチャレンジしてはどうか。

答 産業振興課長

①らせん階段上部の天窗は、冬期強風の影響や、塩害等で劣化した部分が落下破損した



「風の館」天窗ガラス崩落箇所の早期修繕を

もので、令和4年度に修理予定である。
当面は簡易的な補修で対応する。

②道の駅の要件は、トイレ等の24時間開設や案内員の常駐が条件となり、冬期間の現状を考えると設置するのは難しいと考えている。
また、今年12月を目途に日高山脈・襟裳国立公園の国立公園化が予定され、観光客の流れも変わることが予想されるため、その動向を把握し、風の館の施設改修やビクターセンター化に向けた準備をしていきたい。



中野 公浩議員

問 赤潮被害漁業者に支援を

答 各種補助事業を 関係機関と協議し支援

問 中野 議員

赤潮被害でウニ、真ツブなどが壊滅的で、ウニ事業者は、ウニ種

苗支援補助金2090万円があるが、ツブ事業者は補助がない。真ツブが壊滅的で別の漁種に切り替えた漁業者に対して、補助を行ってはどうか。ふるさと納税寄付金の使い道に、「赤潮被害を受けた事業者等の支援」があるが、被害が落ち着くまでこの項目を残しておき、困窮した事業者への長期支援に生かせないか。

答 産業振興課長

ウニは壊滅的な被害を受け、ツブは2月に試験操業を開始し、3月に本操業が始まったが水揚げは厳しい状況が続いている。

今後は、えりも町栽培漁業振興協議会が試験研究を行う真ツブ種苗生産技術の早期確立に対する支援を拡充していく。

昨年12月に国会で成立した「赤潮被害に対

する補助事業」などを活用し、一日も早く漁場が赤潮前の状況に戻るよう、どのような方法がベストなのか、関係機関と協議検討を行っていききたい。ふるさと納税の項目は当面継続することで被害を受けた事業者の支援に活用することを考えているが、どのような支援が有効なのか漁協と検討しながら進めていく。



船上でツブを選別する漁業者。ツブはほとんど入っておらず今後の漁獲が心配される

問 竹内 議員

「合葬墓」アンケート調査によるニーズの把握を

問

答 早急にアンケート調査は考えていない

答

町は、令和元年9月定例会一般質問「合葬墓建設の検討を」の答弁の中で、「町民ニーズの情報収集に努め、今後の方向性を検討していきたい」と答弁しているが、今日までどのような検討をしたか。

お墓の存続については切実な悩みを抱えている方もいるため、アンケートを実施してはどうか。

答 町民生活課長

「合葬墓」の必要性では、地区別町政懇談会で次のような意見がでている。

- ① 町民全体のことを考えれば必要な方がいるのでは。
- ② お寺の合葬墓もあるが、町主体の方が安心できる。
- ③ 町で多額の経費をかけるよりは、お寺に任せの方が良い。
- ④ 将来的に考える必要はあるが、今すぐ行政が考える必要はない。
- ⑤ 現在は深刻に考えていないが、アンケートは実施した方が良い、などである。

また、町内5ヶ所のお寺すべてが合葬墓を設置しており、お寺の意見は、

- ① 町にあれば助かる。
- ② 将来的には必要。
- ③ 必要性は感じていないが、町で合葬墓を設置する考えがある場合、町とお寺で互いに共通認識を図る必要がある。
- ④ 料金の面では行政にかなわれないが町民が望むのであれば仕方ない、などである。

一部の意見ではあるが、合葬墓の必要性を感じているものの、早急に必要と思っていない方は少ないように思われるため、早急なアンケート調査の実施は考えていない。



令和元年12月に共用開始された浦河町「合葬墓」申請者63人、埋蔵件数は159件



大坂 庄吉議員

避難場所の再点検は

問

大坂 議員

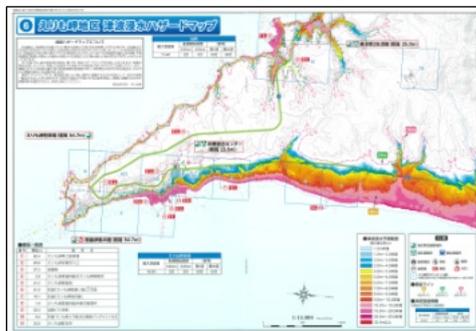
新たに10ヶ所を指定

答

当町は、予測災害の範囲などを示した「ハザードマップ」があるが、研究者によれば、予想を超える大津波が襲ってくると報じられている。

避難場所は、多くが学校体育館や生活館等

②新しいハザードマップを広報4月号と一緒に



が指定されているが、危険と思われる所が見受けられる。

に配布するので、自宅や勤務場所から安全な場所に逃げるのかなどを確認してほしい。

企画課長

①新たな浸水予測に基づいて避難所を指定し直したのは何箇所か。

また、コロナ感染状況による様々な機会を通して、ハザードマップに関する説明会や相談会、避難訓練等の実施を検討している。

問 大坂 議員

映画製作の協力体制は

えりも、浦河、様似、広尾の4町がタイアップで

答

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下で、「北の流水」（仮題）の映画製作が、令和4年度秋からクライン予定と5年度以降に劇場公開を目標にしている。

町は昨年、製作準備委員会負担金と出資負担金を計上し、今年、製作推進事業費を予定している。



①他の3町の出資金状況は。

設立されてスケジュールが示された時点で、宿泊に関する協力要請を実施する。

企画課長

②撮影日程は1ヶ月位と認識しているが、スタッフ等の宿泊場所の確認は。

③地域の協力体制は、各町の漁協、農協、森林組合、商工会、建設協会などに、監督と各町長が協力をお願いし、快諾を得ている。



大坂 庄吉議員

問 内陸道路建設促進の 取り組みは

答 様似町との期成会 結成をめざす

問 大坂 議員
海沿いの当町は、国道が1本しかなく災害時には陸の孤島になってしまうことから、地域住民の安心、安全の

ため、内陸道路建設の要望を進めていたと認識しているが、内陸道路の整備が進んでいない。
災害非常時の緊急避難道路となり地域住民の生命と財産を守るためにも、整備は急務であるが、今後の取り組みはどのようなようになっていくか。

答 企画課長

災害時の内陸代替道路の建設は、様々な機会を通じて各方面へ要望活動を行ってきた。日高総合開発期成会でも、災害時の代替性の確保として、浦河町くえりも町、えりも町く廣尾町間の新設を要望している。

災害時には緊急避難道路となる日高自動車道
II 新冠町節婦地区



その結果、様似町からは期成会結成に同調するとの回答を得たことから、両町で準備会を立ち上げ、協議を重ねていく。
結成後は、より積極的に国や北海道に対し災害時の内陸避難道路としての必要性を訴え、早期実現に取り組んでいく。

問 津波から住民の命を 守るために

答 手始めにどこかの 自治会で避難計画



高松 亮裕議員

問 高松 議員
避難ボードの掲示
国が令和2年4月に公表した千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震による津波の想定で、

えりも町の津波の高さは最大20m以上で羅臼町から松前町までの太平洋沿岸の市町村の中では最大値である。
①住民が危機感を持ちいかに迅速にどこへ避難するかを普段から把握しておく。
②高齢者等の要支援者に声をかけ、避難誘導する隣人を決めておく。
この2点をしっかりと頭に入れておくために、町が統一した様式を作成したうえで、各自治会で協議し、避難場所や経路、誘導者などを記載したボードを各家庭の玄関など、いつも目にする場所に貼ることを提案したい。

答 企画課長

4月に新しいハザードマップを配布するが、



昭和8年、昭和三陸地震で最大14.2mの津波が発生し13人の死者が出た＝えりも岬の津波碑

また、要支援者の個別避難計画についても自治会等の協力を得て、手始めにどこかの地区をモデルケースとして取り組んでいきたい。

全員協議会

令和5年度中に 庶野小学校給食開始予定

平成29年3月に庶野小学校PTA等から学校給食実施の要請を受け、これまで検討・協議を重ね、えりも小学校の給食施設を拡大整備し、庶野小学校分も併せて調理・運搬する方法に決定した。

スケジュール

令和3年度

給食運営協議会に概略説明、意見交換

令和4年度

えりも小学校給食施設増築
(約32㎡)設計委託発注

保護者説明会
(建設工事や給食休止期間の対応など)

令和5年度

保護者説明会
(建設工事や給食休止期間の対応など)
工事入札・発注予定



「いただきます」と手を合わせ、お弁当を食べ始める庶野小学校1年生。完全給食まではもうしばらく辛抱です

議員の声

給食を提供できない期間については、できる限り保護者の負担とならないよう、様々な方法を検討して行くことを望む。

ひるた よしゆみ

蛭田芳文医師 着任

荒井医師退職の後、えりも町国保診療所に内科医(副所長)として蛭田芳文医師が3月22日採用され、1年契約で着任しました。

これまで沖縄・鹿児島の高島や福島の山間部を中心にへき地医療に貢献してきました。

特急とまも号、7月から車内トイレ設置

苫小牧行 特急とまも号は、町民からの要望に応え、6～7月頃より車内トイレや車いすリフトを備えた新車両で運行する。えりも発は5:30から5:40に変更となり、新たに笛舞(5:46)にも停車する。

また、利用客が少ないため、利用率の高い乗降場を増やしたり、バス事業者と連携したPR強化や誘客イベントを開催する。

札幌行 高速えりも号は、これまで2回停まっていた様似(旧様似駅)を1回の停車に変更する。



えりも駅5:40発車を待つ「特急とまも号」

この人に聞く

札幌市から転入の

新規就農者

藤井 達也さん (30歳)



藤井さんは、千歳市の大学を卒業後5年間の会社勤めを終え、令和2年9月に札幌市から転入し、黒毛和牛の新規就農者になりました。

藤井家は、祖父の代から畜産業を営んでいて、今日に至っています。

現在は、自分名義の10頭と父名義の40頭、合わせて50頭の繁殖牛と子牛のお世話を、ご両親、そして達也さんと奥様の家族4人が力を合わせ、早朝から頑張っています。

「会社勤めでは考えられない筋肉を使う仕事のために、初めは腰痛や筋肉痛などで夜は早くに寝ていまし

た」と来た頃の苦労を話してくれました。

また、子牛の出産時には「難産などせずに無事に生まれること」を、家畜市場では「自分の期待通りの価格で売れること」を日ごろから願っているそうです。

町の担い手支援補助金を活用しながら、「自分が頑張ったことは頑張った分だけ自分に返ってくる」を信条に、「将来は自分一人でも仕事が出来るようになること、作業効率を工夫しな

がら規模を拡大すること」を目指しています。

都会で生まれ育った藤井さん。えりもでの生活を始めて最初に感動したことは、前浜でとれたサケやフノリの味噌汁の美味しさで、「今までに味わった物とはとても比較にならないかった」と話してくれました。

取材にご協力頂き心からお礼申し上げます。今後のご活躍をお祈りいたします。
(取材・神田)



藤井さんが飼っている黒毛和牛の親子

議会の動き

2月24日	第7回臨時会 全員協議会 産業民生常任委員会
3月 1日	えりも高等学校 卒業証書授与式 (議長出席)
3月 2日	議会運営委員会
3月 8日	全員協議会 第8回定例会招集
3月17日 18日	第8回定例会及び 予算特別委員会 広報広聴常任委員会
3月28日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
4月 8日	えりも高等学校入学式 (議長出席)
4月14日	広報広聴常任委員会
4月21日	広報広聴常任委員会

※町内小・中・高等学校の卒業式、入学式への来賓出席は、新型コロナウイルス感染対策のため見合わせとなりました。

編集後記

百人浜緑化を題材とした映画「北の流水」(仮題)の田中光敏監督は、現在、三重県で映画「法定相続人」(仮)の撮影中と聞くが、当町のロケはいつになるのだろうか。

今年度予算に、ふるさと納税寄付金を原資に協賛金として3千万円が計上されたが、製作費3億5千万円は集まるのだろうか。

もっと町内外にPRすべきではないか。

色々心配事が頭をよぎる。町内各所に製作の状況や監督のメッセージなどを記した「寄付箱」を設置すれば、心ある町民の協力も得られるし、映画に対する気運も盛り上がると私は思うのだが。

(高松)

広報広聴常任

委員会委員

委員長 橋本 維広
副委員長 高松 亮裕
委員 竹内 孝文
神田 修
上野 陽司